

表1 分施肥割合が茎葉繁茂期生育量と収量に与える影響（上川農試2018～2020年の3年平均）

処理	茎葉繁茂期					収穫期						
	乾物重 (kg/10a)		窒素吸収量 (kg/10a)			収量 (t/10a)		塊茎数 (個/m ²)		規格内	でん粉	窒素
	茎葉	塊茎	茎葉	塊茎	合計	上いも	規格内	上いも	規格内	平均1個重(g)	価 (%)	吸収量 (kg/10a)
12+0	262	917	5.8	8.8	14.6	5.28 (100)	3.90 (100)	43.5	29.2	134	15.4	12.2
9+3前	248	958	5.6	8.9	14.5	5.45 (103)	4.17 (107)	43.6	30.9	136	15.8	13.6
6+6前	210	832	4.9	8.5	13.3	5.10 (97)	3.76 (96)	41.6	29.1	130	15.5	12.0

上川農試、供試品種トヨシロ。処理区名は基肥kg/10a+分施肥kg/10a、前は培土前分施。収量()は12+0を100とした比。各処理区のペア間に有意差なし。表の網掛けは規格内収量が105以上の処理区。

表2 分施肥時期と被覆尿素肥料による施肥法が茎葉繁茂期生育量と収量に与える影響（上川農試2019～2020年の2年平均）

処理	茎葉繁茂期					収穫期						
	乾物重 (kg/10a)		窒素吸収量 (kg/10a)			収量 (t/10a)		塊茎数 (個/m ²)		規格内	でん粉	窒素
	茎葉	塊茎	茎葉	塊茎	合計	上いも	規格内	上いも	規格内	平均1個重(g)	価 (%)	吸収量 (kg/10a)
12+0	272	897	6.9	8.2	15.1	5.45 (100)	3.81 (100)	41.6	28.2	135	15.5	12.5
9+3前	275	946	6.8	8.6	15.4	5.76 (106)	4.14 (109)	41.5	28.8	144	16.3*	14.3
9+3後	242	903	5.9	8.6	14.5	5.72 (105)	3.78 (99)	40.7	26.6	142	15.9	13.4
25%CR20	266	954	6.4	8.7	15.1	5.71 (105)	3.69 (97)	41.5	27.5	134	15.9	13.2
25%CR25	273	891	6.6	8.5	15.1	5.74 (105)	4.00 (105)	41.9	28.5	140	16.2	13.2

上川農試、供試品種トヨシロ。処理区名は基肥kg/10a+分施肥kg/10または基肥12kg/10aに占める被覆尿素肥料の割合・種類。前・後は分施肥時期。収量()は12+0を100とした比。*は5%水準で12+0区とのペア間には有意差あり (Dunnnett法)。

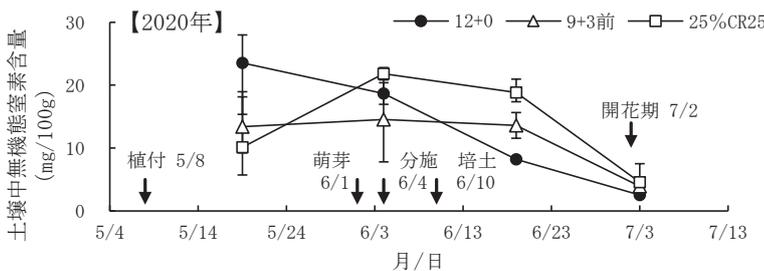


図1 各施肥法における土壌無機態窒素含量の推移

(上川農試2020年。品種トヨシロ。土壌採取位置は株間0～20cm深。図中バーは最小値最大値)

表3 分施肥と被覆尿素肥料による施肥法が早晩性別品種の茎葉繁茂期生育量と収量に与える影響（上川農試2018～2020年）

品種の 早晩性	処理	茎葉繁茂期					収穫期						
		乾物重 (kg/10a)		窒素吸収量 (kg/10a)			収量 (t/10a)		塊茎数 (個/m ²)		規格内	でん粉	窒素
		茎葉	塊茎	茎葉	塊茎	合計	上いも	規格内	上いも	規格内	平均1個重(g)	価 (%)	吸収量 (kg/10a)
早生平均	12+0	230	628	4.4	7.5	12.0	5.04 (100)	4.28 (100)	47.0	34.5	124	15.2	11.5
	9+3前	212	616	3.8	7.4	11.2	4.92 (98)	4.11 (96)	49.2	34.9	118	14.8	12.3
中早生 ～	12+0	278	749	6.4	7.9	14.2	5.01 (100)	3.97 (100)	45.0	31.8	125	14.8	11.8
	9+3前	263	725	6.0	7.6	13.6	5.21 (104)	4.17 (105)	46.1	33.2	126	15.0	12.9
中晩生 平均	12+0	303	768	7.0	7.8	14.8	5.36 (100)	4.11 (100)	46.4	32.4	128	15.0	11.8
	25%CR25	298	718	7.0	7.2	14.2	5.55 (103)	4.31 (105)	46.0	33.5	130	15.5	12.7

上川農試、早生はオホーツクチップ (n=3)、中早生～中晩生はトヨシロ、アンドンバー、スノーデンの平均、9+3前 (n=7)、25%CR25 (n=4)。早生の25%CR25は事例数が少ないため除く (n=1)。処理区名は基肥kg/10a+分施肥kg/10または基肥12kg/10aに占める被覆尿素肥料の割合・種類。前は培土前分施。収量()は12+0を100とした比。各処理区のペア間に有意差なし。表の網掛けは規格内収量が105以上の処理区。

詳しい内容については、次にお問い合わせください。
道総研上川農業試験場 生産技術グループ
電話 (0166) 85-2200 E-mail : kamikawa-agri@hro.or.jp